

## 第5学年2組 音楽科学習指導案

指導者 齊藤 成美

- 1 題材名 「いろいろなひびきを味わおう」  
 教材名 「いつでもあの海は」 佐田和夫 作詞 長谷部匡俊 作曲  
 「リボンのおどり(ラバンバ)」 メキシコ民謡 芙龍明子 日本語訳 原由多加 編曲  
 「双頭のわしの旗の下に」(鑑賞) J. F. ワーグナー 作曲  
 「アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章」(鑑賞) モーツァルト 作曲

### 2 題材について

#### (1) 題材観

本題材は、学習指導要領A表現(1)歌唱イ「歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと」エ「各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと」、(2)器楽イ「曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること」ウ「楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること」、B鑑賞ア「曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと」に関する内容である。

本題材では、歌声やいろいろな楽器の音が重なり合う響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり聴いたりし、また、全体の響きのバランスに気をつけながら、音の組み合わせを工夫して演奏できるようにすることがねらいである。

児童はこれまでに、様々な楽器の音の特徴や音色の違いを感じ取ったり、音の組み合わせ方による響きの違いなどに気付いたりしながら、表現を工夫する活動を行ってきた。また、3年生では金管楽器、4年生では木管楽器の音にも親しんできた。

このような経験を踏まえて、本題材では、いろいろな音が重なる響きを感じ取ったり、きれいな響きを求めて演奏の仕方を工夫したりする活動を中心に学習を進めていく。

そのために、お互いの歌声や楽器の音を聴き合う機会を増やし、拍の流れを感じ取ったり、複数の旋律が重なり合う感じをつかめるような工夫をしたりする。そして、全体の響きから一つ一つのパートを取り上げて旋律の特徴をとらえ、思いや意図をもって表現する力を育てたい。

#### (2) 児童の実態 (男子15名、女子13名、計28名)

1 音楽の授業のどんな活動が好きですか。(複数回答可)	
・歌うこと・合唱(13)	・歌詞の理由などを考えるところ
・合奏(10)	・リコーダー(5) ・わからない
2 1で答えた理由はなんですか。	
・楽しいから(7)	・歌が好きだから(3) ・楽器を使うのが好きだから(2)
・作詞した人のことがわかるから	・いろいろな楽器を使って演奏できるから
・合奏は「ルパン」をやったとき楽しかった	・できるとうれしくて楽しい
・音楽が好きだから	・楽器を演奏できると気持ちがいい

3 合奏の楽しいところはどこですか。(複数回答可)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでいろいろな楽器の音を合わせるところ (8)</li> <li>・いろいろな楽器が使えるところ (4)    ・いろいろな楽器を使って一つの曲を作るところ</li> <li>・いろいろな音が出て楽しい (4)        ・みんなで心をつにして、楽しいから</li> <li>・いろいろな楽器のきれいな音の一つになるところ (2)        ・みんなのできるから</li> <li>・みんなと息が合った時        ・楽器を使うのが楽しい        ・ハモるのがいい</li> </ul>
4 合奏の難しいところはどこですか。(複数回答可)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの音を合わせること (11)    ・楽譜が読めない・読むのが難しい(5)</li> <li>・楽器の鳴らし方や、ドレミの場所を覚えること (2)</li> <li>・楽器が慣れなくて難しい                ・間違えないように演奏すること</li> <li>・楽器を鳴らすのをがまんすること        ・心をつにすること</li> </ul>
5 今までに演奏したことのある楽器は何ですか。(複数回答可)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー (全員)    ・鍵盤ハーモニカ (全員)    ・ピアノ (9)    ・ハーモニカ (3)</li> <li>・エレクトーン    ・バスマスター    ・キーボード    ・オルガン (6)    ・ハンドベル (10)</li> <li>・鉄琴 (11)    ・木琴 (11)    ・バイオリン    ・トランペット    ・ギター    ・琴</li> <li>・ウクレレ (2)    ・カウベル (2)    ・すず (19)    ・マラカス (12)    ・コンガ    ・ボンゴ</li> <li>・シンバル (4)    ・小太鼓 (10)    ・大太鼓 (6)    ・タンブリン (12)    ・ウッドブロック (7)</li> <li>・クラベス        ・トライアングル (18)    ・カステネット (8)        ・バーチャイム (7)</li> </ul>

〈考察〉

③から⑤の合奏についての調査から、いろいろな楽器に触れることや音を合わせることが楽しいと感じている児童が多い。

「合わせる」という活動は、出だしの息を合わせることや、音を聴くことが大事である。そのためには、楽譜をしっかり読んで音やリズムを確認し、楽器の演奏に慣れていくことが必要だと考えられる。

使ったことのある楽器は、小学校の器楽活動で使う鍵盤ハーモニカとリコーダー以外には、学校での合奏教材で扱った楽器、主に打楽器が中心で、習い事で演奏している楽器は少数だった。現在習い事で楽器を演奏している子は少なく、ピアノを習っている子は2名である。できるだけ多くの種類の楽器を紹介したり、演奏したりしていきたい。

6 楽譜をよんで、階名を書きましょう。(「リボンのおどり (ラバンバ)」) 調査日 5月30日	
	ト音記号①②③④パート
	正答 18名
	誤答 10名
	へ音記号 (未習) ⑤パート
	正答 7名
	誤答 21名

〈考察〉

読譜については、6割以上の子が正しく読めた。1、2名の誤答の子を含めると8割近くの子が読譜についてはできるようである。へ音記号は未習であるので正答が少なかった。

7 「リボンのおどり（ラバンバ）」を聴いてどんな感じがしましたか。		
・聴いたことがある（18）	・かっこいい	・陽気
・おもしろい（8）	・最高	・覚えやすい
・楽しい（6）	・同じところが何回も出てくる	

〈行動観察〉

「リボンのおどり（ラバンバ）」はテレビのコマーシャルで使われていたこともあり、児童の反応として「知っている。聴いたことがある。」というものが多かった。体でリズムをとったり、コマーシャルのように腰を振ったりしながら聴いている子も見受けられた。

8 指導用CDの「リボンのおどり（ラバンバ）」の演奏を聴いて、主旋律が演奏されている回に○をつけましょう。		調査日 6月8日
正答 14人	誤答 14人	

〈考察〉

④のパートの主旋律が演奏できている時点で調査をした。指導用のCDでは、まず⑤のパートから始まり、主旋律は出てきたり無くなったりを数回繰り返して演奏されている。

児童は、始まりには主旋律はないとほとんどの子が感じ取ることができた。しかし、その後交互に主旋律が出てきたり無くなったりしているところで、「鳴っているような気がする。」「ピアノの音に入っているような感じもする。」などの発言や、「途中でわからなくなってしまった。」という声も多かった。

また、「主旋律がないと間抜けな感じがする。」や「他のパートがメインになっている。」など、音の重なりを感じている児童も数名いた。しかし半数が主旋律を聴き取ることができなかつたので、それぞれのパートに少しずつパートを重ねていったり、それぞれの組み合わせではどのような響きになるかを十分に感じ取らせたりしていきたい。

本学級の児童は、歌うことや楽器を使うこと、様々な音楽活動に興味関心を抱き、意欲的に音楽の学習に取り組む児童が多い。

合奏では、いろいろな楽器でいろいろな音色をみんなと合わせたいと願っている。合わせるための、基本的な知識や技能を普段の学習から少しずつ積み重ね、児童の思いや願いを大切にしたい活動ができるようにしていきたい。

(3) 指導観

初めに歌唱教材で、歌声が重なり合う響きを味わったり重なり方の違いに気付いたりし、旋律を重ねるときれいな響きになる感じをつかませていきたい。そして合奏教材では、様々な旋律を重ねる響きの違いに気づき、思いや意図をもって重ね方や曲想の変化を工夫する活動を進めていきたい。最後に鑑賞教材では、吹奏楽と弦楽合奏の響きを感じ取り、曲想の違いや変化など、表現の深まりや広がりをも自分たちの表現活動に生かしていきたいと考える。

「いつでもあの海は」は、海への思いを歌い上げたオリジナルの二部合唱曲である。強弱記号の変化から、気持ちの高まりを表現していることに気づき、その歌い方を工夫することができるだろう。また、前半部分は斉唱、後半部分是对位的な二部合唱から和声的な二部合唱へと構成されていて、旋律の重なり方の違いに気付けるようにしたいと考える。

「リボンのおどり（ラバンバ）」は、原曲はメキシコ民謡である。楽器の選択やパートの組み合わせ、繰り返しの回数などを自由に構成できるよう、打楽器を含めた7つのパートに編曲されている。きれいな響きを求め、パートの組み合わせや曲想の変化を工夫していけるように、視覚的にもわかりやすい演奏表を用いたり、工夫するポイントを明確にしたりした学習活動を進めていきたい。

また、「リボンのおどり（ラバンバ）」はラテン音楽である。ラテン音楽のもつ陽気な曲想を、リズムから感じ体全体で味わえるよう、メキシコ民謡だけでなく様々なラテン音楽に触れていきたい。合奏は難しいと感じている子にも、ラテン音楽の楽しさを感じて意欲的に取り組めるようにしていきたい。

「双頭のわしの旗の下に」と「アイネ クライネ ナハトムジーク」は、吹奏楽と弦楽合奏の響きの違いや、楽器の組み合わせや強弱の変化による響きの違いを感じ取り、合奏による表現の深まりや広がりを楽しむことで、自分たちの表現活動にも生かしていきたいと考える。

### 3 題材の目標

- ・歌声や楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりする。
- ・音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きのバランスに気をつけながら、音の組み合わせを工夫して演奏する。

### 4 題材の評価規準

ア音楽への関心・意欲・態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能	エ鑑賞の能力
声や音が重なり合う美しい響きを求めて表現したり聴いたりする学習に主体的に取り組もうとしている。	旋律の重なり方の違いが生み出す響きのよさを感じ取り、美しい響きになるように表現の仕方を工夫している。	旋律の重なり方や拍子の特徴を生かして、表情豊かに歌ったり楽器を演奏したりしている。	いろいろな楽器の音が重なり合う響きの違いや、曲想やその変化などの特徴を感じ取って聴いている。

### 5 題材の指導計画及び評価計画（8時間扱い）

時	○学習内容 ・主な学習活動	学習活動における具体的評価規準	共通事項
第1次 歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱する			
1 時	○曲全体の感じをつかんで歌う。 ・「いつでもあの海は」の範唱を聴いて、曲全体の感じをつかみ、主旋律を歌詞唱する。 ・どんな海の様子かイメージをふくらませる。 ○旋律の重なり方の特徴をとらえて歌う。 ・重なり方の違いに気をつけて、下声部の旋律を歌う。	ア 旋律の重なり方の違いに気が付き、友達の声と合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	旋律 音色    音の重なり
2 時	○表現を工夫して歌う。 ・旋律の重なり方の違いを生かした歌い方について話し合い、表現を工夫する。 ○全体の構成を考えて歌う。 ・歌詞の内容や強弱、旋律の重なりなどの楽曲の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ・グループごとに発表し合い、声の重なりを感じながら歌ったり聴いたりする。	イ 旋律の重なり方の違いを生かして、歌い方を工夫している。 ウ 歌詞の内容や強弱を生かし、表情豊かに歌っている。	強弱

第2次 いろいろな楽器が重なり合うひびきを感じながら演奏する				
3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲全体の感じをつかんで演奏する。</li> <li>・「リボンのおどり（ラバンバ）」を、指導用CDや原曲を鑑賞し、曲全体の感じをつかみ感想を話し合う。</li> <li>・リズムカルな踊りの気分を感じ取って①②のパートを歌う。</li> <li>・①②③④のパートの旋律を階名唱したり、⑥⑦のパートのリズムを手拍子で打ったりする。</li> <li>・へ音譜表の読み方を知り、⑤のパートを演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音が重なり合う響きやリズムのおもしろさに関心をもち、進んで取り組もうとしている。</li> <li>ウ 拍の流れにのって、正しく演奏している。</li> </ul>		アクセント へ音記号
4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重なり合う響きの変化を楽しむ。</li> <li>・リズムやメロディーラインに着目し、各パートの特徴をつかみ、役割を理解する。</li> <li>・それぞれのパートの特徴に合った楽器を選び、演奏する。</li> <li>・いろいろなパートの音の重なり方を感じながら、演奏表を用いて演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ パートの特徴を生かして、演奏の仕方を工夫している。</li> <li>ウ パートに合った楽器の選び方を工夫し、響きの変化を感じ取って演奏している。</li> </ul>		音の重なり 反復
5時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重なり合う響きの変化を楽しむ。</li> <li>・曲全体のまとまりを考えながらグループで話し合い、重ね方を決め、演奏表を用いて演奏する。</li> <li>・強弱や速さなどの変化の工夫をして演奏する。</li> <li>・グループごとに演奏し、表現の工夫の違いに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ グループごとに表現の工夫をしている。</li> <li>ウ 楽器の組み合わせを工夫し、響きの変化を感じ取って演奏している。</li> </ul>		強弱
6時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いの演奏を聴いて、重なったハーモニーの変化を楽しむ。</li> <li>・グループで発表し合い、感想を述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウ 楽器の響きの変化を感じ取って、演奏したり聴いたりしている。</li> </ul>		音楽の 縦と横 の関係
第3次 いろいろな音が重なり合うひびきを味わう				
7時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽器編成の違いや響きの違いに気をつけて聴く。</li> <li>・教科書の写真から、演奏している楽器について気付いたことを発表する。</li> <li>・「双頭のわしの旗の下に」と「アイネクライネナハトムジーク」の2つの楽曲を聴き、曲の感じの違いを感じ取る。</li> <li>・曲想の変化を味わいながら2つの曲を聴き、それぞれの楽曲のよさを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 吹奏楽と弦楽合奏の響きの違いを感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>エ 吹奏楽と弦楽合奏の響き、曲想の変化を感じ取って演奏を聴いている。</li> </ul>		拍の流れ フレーズ
8時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合奏や合唱に生かせる工夫に気付く。</li> <li>・演奏の工夫や強弱のつけ方など、自分たちの表現に生かせる工夫や気付いたことを話し合う。</li> <li>・話し合いをもとに、「いつでもあの海は」を合唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 自分たちの表現の幅を広げようと、進んで話し合ったことを生かそうとしている。</li> </ul>		



## ② 聴き合う活動

パートの重ね方、強弱や速さの変化の工夫など、それぞれに聴き合う活動を取り入れる。自分の演奏で精一杯の子にも様々な音の重なりや響きに気付かせ、きれいな響きやそれぞれの重ね方を感じさせることができるだろう。

発表をして終わるだけにならないよう、3つのグループを比べて、違うところや印象的なところの小節を切り取って部分ごとに聴き合ったり、演奏表を見ながら聴いたりすることで、目的をもった活動にしていきたい。そうすることで、グループごとの思いや意図に気づき、与えられたパートをただ演奏していた子ども、自分たちの構成や演奏への意識が高まるだろう。

## ③ 表現を工夫するためのポイント

表現を工夫するために“2つのポイント”「A重ね方」「B変化」を提示する。

まず「A重ね方」について考える。各パートの特徴を意識し、いろいろな重なりを試しながらパートの重ね方を決めていく。また、組み合わせを決めるときに回数ごとの中心となるパートを考える。響きの中でその主役のパートがわかるように、組み合わせ方や演奏の工夫ができるよう、演奏表にも、どのパートが主役なのかがわかるように書き込むようにする。

そして、次に「B変化」について考える。強弱などの変化についてふれ、全体のまとまりを意識させる。回数ごとにパートの組み合わせを決めていくので、つなげて演奏したときに全体のまとまりがなくなることも考える。そこで、強弱の変化を考えさせて演奏するだけでも、全体を通しての見る目・聴く耳ができ、「もっとこうしたい」「ちょっと変えてみよう」などの思いや意図が強くなるのではないかと考える。

このようにして児童が“2つのポイント”「A重ね方」「B変化」に絞って考えることによって、表現の工夫がとらえやすくなると考える。

(3) 展開

学習内容と学習活動	○教師のかかわり <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学習活動における 具体的評価基準</span> ☆〔共通事項〕	備考
<p>1 始まりの歌、他を歌う。</p> <p>2 前時までを振り返る。 ・「リボンのおどり（ラバンバ）」の曲の雰囲気やイメージを想起する。 ・いくつかのパートを重ねてリコーダーで演奏する。</p> <p>3 本時の学習の内容を確認し、めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「リボンのおどり」を楽しく演奏するための工夫をしよう。</div></p> <p>4 工夫のポイント「A重ね方」「B変化」について知り、グループごとにパートの組み合わせを考え、演奏しながら決定する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">④のパートを主役にする、 なんだかゆったりするね。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">だんだん弱くして、最後のところは強くしよう。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">静かに⑤だけから始めるのもおもしろいね。</div></p> <p>5 グループごとに演奏を発表する。 ・お互いの演奏を聴き合い、気付いたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">楽器が違くと、組み合わせは同じでもひびきが違うね。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">強弱がついていて、最後盛り上がる感じがしたね。</div></p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>○明るい雰囲気を作り、意欲的に取り組めるように声をかける。</p> <p>○どんな響きになるか周りの音を聴きながら演奏するように声をかける。</p> <p>○Aについてグループで話し合いながら決めていき、Bについては可能な範囲でできるようにする。</p> <p>○演奏表を活用し、組み合わせがわかりやすいように助言する。</p> <p>○演奏しながらよりよいパートの重なりになるよう、何度も変えてよいことを伝える。</p> <p>○強弱の変化をつけたり、奏法を工夫したりしながら演奏表に書き込んでいるグループを称賛する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">イグループごとに表現の工夫をしている。</div> <p style="text-align: center;">☆音の重なり・音色・旋律・強弱</p> <p>○曲全体の構成を伝えられるように、演奏表を用いて発表するよう声をかける。</p> <p>○3つのグループの演奏を聴き比べ、どんなところが違うか発表させる。</p> <p>○曲想の変化の違いに気づけるように、演奏図に目を向けるよう促す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ウ楽器の組み合わせを工夫し、響きの変化を感じ取って演奏している。</div> <p>○感想を何人かに発表させ次時への意欲につなげる。</p>	<p>拡大演奏表 付箋</p> <p>【使用する楽器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー</li> <li>・鍵盤ハーモニカ</li> <li>・オルガン</li> <li>・バスマスター</li> <li>・木琴</li> <li>・鉄琴</li> <li>・大太鼓</li> <li>・小太鼓</li> </ul>



